



## 全力笑顔の運動会

校長 中山 正之

先日ラグビーのワールドカップが終わりました。今回日本代表はベスト8入りを残念ながら逃しましたが、世界の強豪国を相手に健闘しました。また、優勝した南アフリカ共和国をはじめニュージーランド、イングランド、開催国フランスなどは素晴らしい試合を繰り広げ、私も夢中になって観戦しました。

このワールドカップが4年前に日本で開催されたことは、まだ記憶に新しいところです。その際に盛んに取り上げられていた、ラグビーの「5つの価値」について覚えておいででしょうか。国際連盟（ワールドラグビー）が定めるラグビー憲章に掲げられている、「品位、情熱、結束、規律、尊重」という競技としての5つの価値のことです。私は日本大会で、出場国の選手たちがこのこれらの価値を非常に大切に試合に臨んでいることを知りました。中でもノーサイド（試合終了）の後に見られるお互いをたたえ合う姿には、勝敗を超えたすがすがしさや感動を覚えました。「品位」や「尊重」といった価値が体现されている場面だと思います。

今回のフランス大会でも、参加国が5つの価値のもとに試合を行っていることを改めて感じました。例えば、ニュージーランドの選手たちが試合前に行う「ハカ」と呼ばれる儀式はとても迫力があり、相手を威嚇しているように見えますが、それだけではなく相手への敬意や感謝も込められているそうです。こうしたことを踏まえて、選手達が勝敗とともに価値を置いている事柄に着目することで、観戦する私達も競技をより深く理解し、楽しめるようになるのだと思います。

さて、10月21日は本校の運動会でした。今年のテーマは「みんないっしょに全力笑顔でがんばろう」です。気持ちの良いお天気のもとで子ども達は練習の成果を存分に発揮してくれました。団体演技では、低学年のスーパーマリオをモチーフにしたユーモラスな動きに思わず笑顔になり、中学年のフープを使った演技には、個人技と集団の動きをバランスよく組み合わせた工夫に引き込まれました。そして高学年の稲荷台ソーランでは、演技の迫力に圧倒されました。5年生、6年生とも見ている人達に自分の思いを伝えようとする姿には、前述の「ハカ」にも通じる感覚があるように私には思えました。

また、今年は紅白対抗が復活し、徒競走、リレー、大玉送りで得点をつけました。そして結果はご存じのとおり、引き分けに終わりました。なかなか見られないケースです。集計の係の先生達は何度も計算を行い、確認したそうです。同じ点数が並んだ得点版を見て子ども達はもちろんのこと、来場された皆様も驚かれたことと思います。私達も驚きました。しかし、結果が分かった後の子ども達の顔は晴れ晴れとしていました。全力笑顔でやり切った結果としての引き分けです。子ども達には自信を持ってもらいたいと思います。

この運動会に向けて、保護者の皆様には練習の段階から様々なご協力をいただき、ありがとうございました。当日の運営につきましても、アンケートでいただいたご意見を来年へ生かしていきたいと思っております。11月には歌声発表会が行われます。各学年で練習がすでに始まっています。同日の午後に行われるPTAの稲荷台フェスティバルの準備も進めています。どちらもとても楽しみです。

